

2025年12月1日

保護者の皆さまへ

幼保連携型認定こども園こもれび 園長/坂本 肇

## こもれびの行事の在り方について

いつも当法人の保育及び幼児教育に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

先日の運動会につきまして事後アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。対象家庭の約70%の皆さまからご回答をいただき、アンケートの結果では83%の保護者の皆さまから「とても良かった」「良かった」とのご評価をいただきました。

行事の在り方を大きく見直している最中での開催でしたので、皆さまからこのような前向きなお声をいただけたことは職員一同大きな励みとなりました。まずは、温かいご意見の数々に深く御礼申し上げます。

その一方で、運営面・環境面・進行方法などについて、貴重なご意見やご指摘も多く頂戴しました。なかには厳しいお声もございましたが、いずれも「より良いこもれびであってほしい」というお気持ちから寄せていただいたものであり、その真摯なお言葉に心より感謝しております。頂いたご意見は、「改善すべき点」「継続して大切にすべき点」に丁寧に整理し、来年度以降の運動会だけでなく、今後の行事づくり全体に活かしてまいります。また、アンケート結果の詳細や今後の改善方針につきましては、どのような形で共有することが適切かを丁寧に検討し改めて皆さまへお伝えできればと考えております。

そこで、本日は12月開催の生活発表会について、こもれびで大切にしている「発表会の在り方」について改めてお伝えたくお手紙をお届けいたします。

### いろいろ(こもれび)が目指す生活発表会とは

#### — “子ども達のありのままを尊重する” という思想の結晶 —

こもれびでは、生活発表会を「見せる行事」ではなく、「子ども達の生活そのものを感じてもらう時間」と捉えています。多くの園では、発表会が「練習→完成→披露」という流れになりがちですが、私達は発表会を“子ども達が日々の生活の中でどのように生きているか”を共有する機会として大切にしていきます。

今この瞬間をどう感じているか

友達とどんな関係を築いているか

どんな遊び・どんな気持ちが育っているか

こうした日常の積み重ねそのものを、保護者の皆さまと一緒に味わう時間でありたいと考えています。

### なぜ“指示・命令・訓練型”から変えているのか？

こもれびでは、生活発表会の進め方を少しずつ見直し、従来型の「揃える・覚えさせる」発表会から、子ども達の自然な表現を大切にす発表会へと移行しています。その理由は大きく3つです。

#### 1. 上手さよりも「子どもの主体性」を育みたいから

大人が動きやセリフを細かく決め、指示し続けると子ども達は“正解を探す姿”になってしまいがちです。

それよりも、 自分で考える  失敗してもやり直す  仲間と協力する  表現することを楽しむ、といった本来の育ちを大切にしたいと考えています。

## 2. 子ども達の心に“無理”が生じる練習は、本質ではないから

長い練習や同じ動きを何度も繰り返す練習が続くと、子どもは「発表=しんどい」「間違えたらダメ」と感じてしまうことがあります。こもれびは一人一人の心の動きや感情を尊重する園です。練習のために遊びが削られてしまう状況や、完璧さを求めて子どもが肩に力を入れすぎてしまう状況は避けたいと考えています。

## 3. 子ども達の“今の姿”を大切にしたいから

3歳・4歳・5歳の子ども達の発想は、本当にユニークです。大人が思いつかないような面白い表現や世界を持っています。そのユーモア・興味・遊びの世界は、揃えるよりもずっと魅力的でまさに今しか見られない宝物です。だからこそ、「得意なこと」「夢中になっている遊び」「その時の気分」など、“今のその子”そのままの姿を見ていただきたいと考えています。

### いろいろ(こもれび)らしさの核心

#### ☑一人一人が主役であること

「揃うこと」よりも、“違いをいろいろとして活かす”ことを大切にしています。同じクラスにいても、性格も興味も表現も全く違う。そして、先生達自身のカラーも違います。だからこそ、その違いを表現としてそのまま大切にしたいと考えています。

#### ☑あそびの延長としての表現

特別な練習期間をつくらず、日々の生活や遊びから自然に生まれた表現を組み立てています。覚えさせるのではなく、“その場で楽しむ姿”を大事にしています。

#### ☑先生は「演出家」ではなく「編集者」

子どもを思い通りに動かすのではなく、子ども達の小さなつぶやきや遊びの中の表現を見つけてつなぐ役割それが、こもれびの保育者の役割です。うまくいかない瞬間も“今の育ち”として大切に捉えています。

### こもれびの生活発表会で大切にしていること

#### ☑発表会のための練習はしない

#### ☑遊び・生活の延長にある表現を大事にする

#### ☑揃っていなくても OK、一人一人が輝くことを最優先に

#### ☑その子の得意・好き・興味が形になる発表にする

#### ☑「頑張らされた姿」ではなく「楽しむ姿」を届ける

そして何より、子ども達自身が「やってみたい!」と心から思える内容を一緒につくること。

### 最後に

行事は子ども達が「何ができるか」を評価する日ではなく、「どんな風を感じ、どんな風に生きているかを共有する日」だと考えています。その日の姿は、どれも“その子の今”を映す大切な成長の証です。

そして、“完成の瞬間”ではなく、“過程の積み重ね(通過点)”として捉えています。一人一人の違いが響き合い、クラス全体で広がっていく姿こそ、私たちが目指す「しなやかな心を創る」保育及び幼児教育の結晶だと感じています。これからもこもれびらしい姿勢を大切にしながら、子ども達の育ちに寄り添った行事づくりに努めてまいります。そして、子ども達がのびのびと自分らしさを発揮できる行事の在り方を、職員一同、誠意をもって追求してまいります。

引き続き、温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。